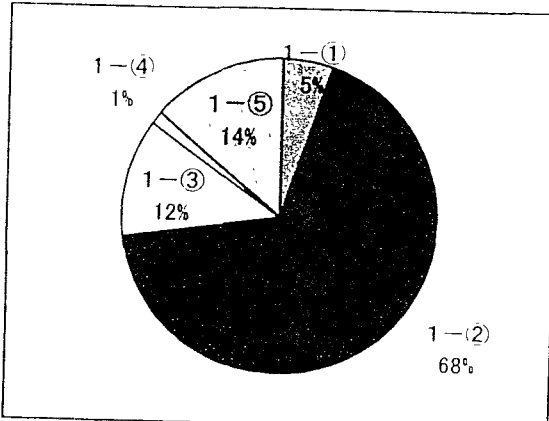


資料4-2

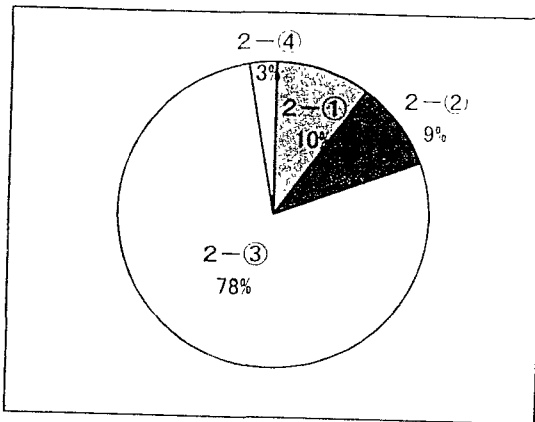
平成20年度「けんけつ ホップ ステップ ジャンプ」配布時におけるアンケート調査結果

アンケート回収 520校/5948校
 (※平成20年度は、平成21年3月に配布を行ったもの)



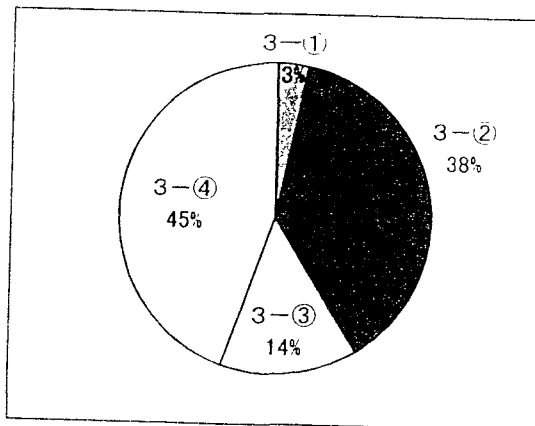
1. 貴校では、この資料をどのように利用されていますか。

- ①保健体育の授業で使用している
- ②配布するのみ
- ③校内での献血実施時に配布している
- ④その他の授業で使用している
生物・理科/家庭科
- ⑤その他
HRで配布・担任より指導/興味関心のある生徒に配布/
卒業時に配布/地域で献血がある際に配布/
新入生に配布/学年集会で配布・説明/
保健委員会で使用/保健だよりの資料として使用/



2. 貴校では、本資料を何年生に配布しましたか。

- ①1年生
- ②2年生
- ③3年生
- ④その他
4年生(定時制)/献血者(学年問わず)/
希望者/保健委員



3. 本資料によって、貴校生徒の献血への関心に変化はありましたか。
 (先生の印象で結構です。)

- ①高まった
- ②やや高まった
- ③変わらない
- ④分からない

4. 本資料の内容について生徒の献血への関心を高めるためのアイデアや改善すべき点があれば、ご記入下さい。

(自由記載項目)

- ・保健の授業を実施する1、2年生への配布とし、授業の中で活用するのが望ましい。
- ・3年生は保健の授業がないので、詳しく説明していない。
- ・3年生は受験体制で、保健0・家庭科0という時間割。配布時期に苦慮する。
- ・生徒の保健の授業には献血関係がないので難しい。
- ・実業高校で、あまり関心がない。今後意識を高めたい。
- ・学校で献血や献血の授業があれば、そのときに配布することによって、関心は高まると思う。
- ・見学などの体験学習とあわせて取り組めたらベストだと思う。
- ・卒業時に配布したらどうか。(進路も落ち着き、18歳の自覚があるように思う。)
- ・校内献血(2、3年生対象)では、2年生の方が献血に興味を持っている(初めての献血)ので、2年生に配布したい。
- ・1、2年生を対象に3月に献血を実施しているため、配布対象を2年生としている。
- ・とてもわかりやすく、興味を持って知識を高められる教材だと感じた。
- ・とてもわかりやすく良いと思う。
- ・とても読みやすく、わかりやすい冊子だと思う。
- ・とても貴重な資料だと思う。
- ・マンガが取り入れられ、わかりやすかった。
- ・親しみやすいキャラクターやレイアウトなので、生徒も読みやすい。
- ・DVDとの併用により、関心を高めるために役立ちました。
- ・今の内容で十分だと思う。
- ・予想以上に生徒が熱心に読んでいたので良かったと思う。
- ・以前より親しみやすい内容になった。
- ・イラストが可愛くて、生徒もとても関心をもってくれた。
- ・ポスターを各校に2～3枚で良いのではないかな？
- ・とてもわかりやすい冊子だが、もう少しコンパクトにまとめても良いと思う。
- ・もう少し内容を簡潔に、冊子を薄くしてください。
- ・もう少し簡潔な文章の方が良いと思います。
- ・もう少し簡単でも良いと思う。
- ・字が小さく量が多いので、もう少し簡略化を。
- ・厚すぎる。
- ・薄くてインパクトのある資料にする。
- ・生徒用にはクリアファイルが良いのではないのでしょうか。(常時持って見ることが出来る。)
- ・絵や図が多くわかりやすいが、冊子だとよく読むまでは至らない。ボールペンやクリアファイルの方が良いと思う。
- ・クリアファイルにPRしたい内容を凝縮して載せて配布する。冊子はゴミになりやすい。
- ・冊子だとなかなか読まないで、内容を厳選してリーフレット(両面印刷1枚)にまとめるとよい。
- ・両面印刷1枚の方が、読む確率は高いと思う。
- ・表ウラ一度で見られるリーフレットや下敷きのようなものでも良いと思う。(厚い冊子だと読まないような…)

- ・サイズがA5の方が読みやすい。
- ・もう少し冊子を小さくしたら、生徒も気軽に手にとって読む気持ちになりやすいのではないかと思う。
- ・大変分かりやすいテキストであるが、ページ数が多いようにも思われる。
- ・もう少し枚数を減らすと生徒が飽きずに読めると思う。
- ・ページ数を減らし読みやすくする。
- ・少しページが多い。A4両面くらいのパンフレットがよいと思う。
- ・資料が厚いので、もう少しポイントを絞った簡単なプリントで良いと思う。(詳しいパンフはクラスに1冊で十分。)
- ・内容が盛りだくさんで読み切れません。冊子も内容もコンパクトにして欲しいと思います。
- ・クラスに1つカレンダーにするとか、メモ用紙の裏が献血のPRとか、考えてほしい。
- ・もっと文字を大きくした方がよい。
- ・少し子どもっぽさが気になります。
- ・高校3年生のテキストにしては、イラストが子どもっぽく、興味や関心が持てないように感じます。
- ・高校生なので、職員用と同様のものでよいと思う。
- ・献血対象者全員に配布できたらよりよいと思う。
- ・資料を配付しても、読んでくれたかどうかは各個人によるところが大きいので、効果があるか分からない。
- ・内容的には全体的にまとまっていて良いと思うが、配布するだけではどの程度の生徒が読んでくれるか、学校で学習の場を設けられるとよいのですが。
- ・パンフレットを配っても意識向上にはならないと思う。
- ・生徒は文字が嫌いなので、冊子は無駄ではないか。
- ・この教材にお金を使うよりも、献血者への感謝の品を考えた方が良いと思う。
- ・生徒の実態から内容を理解させることは困難。(特別支援学校)
- ・教員用は小さめで専門的な資料が良いと思う。
- ・Q&Aをもっと載せる。
- ・キャラクター(けんけつちゃん)をもっと宣伝すると良いのでは？
- ・けんけつちゃんは女子に好評。「痛い」等のマイナスイメージを払拭できれば良いかもしれない。
- ・マンガ、イラストを多く取り入れる。
- ・胸打つ名セリフを。
- ・高校生に人気の芸能人等を起用する。
- ・人気のある芸能人をイメージキャラクターとして採用すると関心が高まると思う。
- ・ビデオ、DVD等の視覚的な教材があると良い。
- ・CD等を作成する。(保健の授業でも活用できると思う。)
- ・QRコードをつけて、HPIに携帯からアクセスできるようにする。
- ・現状を知らせる。献血が出来る場所を提示する。
- ・献血不足に対してもっとアピールした方がよい。(この資料は保健だよりも使用させてもらっている。)
- ・課題解決学習の資料としても使用したいので、もう少しデータや内容面で深さもあると良い。
- ・献血器具の写真、10代の人が献血しているアップ写真を載せる。
- ・若者に人気のある芸能人が献血の呼びかけ又は実際に献血しているシーンを載せるのも一つの方法だと思う。
- ・生徒の知っている著名人で、献血に助けられた人のコメント・コラムが入っていると良いのではないか。

- ・生徒が行ってみたいと思えるよう、献血ルームの様子やサービスをもっと加えてみると良い。
- ・生徒会活動や部活動としての取り組みの紹介など、生徒の自主的な取り組みを紹介すると良いと思う。
- ・献血血液によって救われている方たちの言葉など、献血が役立つと実感できる内容にする。
- ・本当に困っている人や献血によって助けられた人の例や手記を載せる。
- ・小児がんの記事を掲載するのはどうでしょうか。
- ・ニュース等で報道されている医療事故等についての正確な情報(リスク等について)も知らせてほしい。
- ・保健授業の「感染症」「エイズ」の単元で扱っているため、そのあたりの資料も少し載せてほしい。
- ・献血できない条件をリストアップしてもらいたい。(ピアスなど)
- ・血液の重要性について教育が大切。
- ・直接生徒へ説明していただきたい。
- ・各校にて説明会をおこなう。
- ・日本の現状として講話等していただけるとなお良いと思う。
- ・献血推進指導・教育のために、保健所等の担当の方が学校に来てくださるのが良いと思う。
- ・学校の場合は、大人(=教職員)が献血への関心を持たなければならない。
- ・世論の関心を高める。
- ・テレビなどでの広報の効果が大きいのではないか。
- ・CMで実情や美談等を出来るだけ多く紹介してもらえば良いのではないか。
- ・ドラマ化するなど、メディアを通じた啓発活動をおこなう。
- ・有名人(人気のあるタレント)による啓蒙。
- ・生徒に身近なモデル(楽天・田中投手)の起用はよかった。
- ・授業時間内で校内献血を実施している。
- ・文化祭などで献血キャンペーンを企画する。
- ・文化祭などに採血車がきて献血をおこなうというようなはたらきかけ。
- ・献血車をもっと街頭に出して、献血の機会が増えればと思う。
学校でおこなうのは、体育や部活動の関係から、健康安全上推奨出来ない場合がある。
- ・地域で献血する機会を増やすと良いと思う。(生徒はどこで献血をしているか知らないのです)
- ・献血して初めて痛みがわかるのではないかと?
- ・年二回、オープン採血の方法で実施しているが、「見せる」ことによって、次は自分も…という気になる。
- ・献血者への記念品の配布
- ・200ml献血が再開されない限り、高校での協力は得られないと思う。(400ml推進に移行後は校内献血を実施せず。)
- ・学校献血時よりも献血ルームに行った方がサービスがよいというのは困る。